

今回5名が質問し、
その要約を掲載しました。

片岡 藏之 議員 …………… 8

- ・農業振興について
（農産物のバックアップについて）
- ・町のイメージアップについて
- ・七会診療所について

南條 治 議員 …………… 9

- ・町長の所信表明から
- ・人口減少に対して
- ・物産センターの今後は
- ・憩いの場の取り組みについて
- ・公共交通の取り組みは
- ・重要課題の医療・介護は

藤咲 芙美子 議員 …………… 10

- ・七会診療所の建て替え先について
- ・婦人科がん検診拡充について
- ・デマンドタクシーの広域化をはかる

阿久津 則 男 議員 …………… 11

- ・防災関係について
- ・地域の医療について

杉山 清 議員 …………… 12

- ・地域活性（創生）について
- ・災害(防災)対策について
- ・町内河川、橋梁について
- ・インフラ整備について
- ・奨学金制度について
- ・ふるさと納税について

一般質問

町政を問う

農業振興・農産物の バックアップについて



かたおか 片岡 くらゆき 蔵之 議員

片岡 昨今の農業は経営上破綻していると思わざるを得ない。そこで行政として農業のプラスになれるか、町では既存ブランド品として、赤ねぎ、トマト、春慶塗等ホームページ、物産センター等で広報してはいますが、それ以上にバックアップすべきと思う。JAの旧来の検査法に町独自の食味をプラスしお墨付きを付ける事で、他産品と差別化をつける売り方を考えられるか？

町長 お米に関しても、ブランド品として認定していく中で食味を含めた基準を審査の中で検討していきたい。

片岡 施策をする上で役所内の組織改革が必要になるのではないか？

町長 農産物、ブ

ランド品の販売を行う上で、課・局等は必ず必要となるので、検討していきたい。

片岡 町の人口は減少の方向。町の活性化として、農業体験施設を作ることは出来ないか？

町長 農業を活性化していくには、農業体験は有効な施策だと思っている。箱物を作るより、既存のやまびこの郷、ふれあいの里などを利用したイベント等を積極的に開催して、研究、検討を進めていく。



「ななかいの里コシヒカリ」

七会診療所その後の経過について

片岡 七会診療所は現在どのような経過を進んでいるのか。

町長 七会診療所は僻地医療機関としての役割を今後も継続するため、10月18日に開かれます国保運営協議会で町の考え方を、具体的に示し協議していく。



「七会診療所」

町のイメージアップを合併10周年記念として姉妹都市選定にしてはどうか。

片岡 今年、合併10年となる。新事業として、姉妹都市の検討をしてはどう

か？
町長 姉妹都市は、現在選定している。



なんじょう 南條 議員
おさむ 修

町長の所信表明から

南條 公平的確な行政執行はどのような事なのか。

町長 広く開かれた場で住民の意見を伺い誰でも見える形で回答していく。

南條 住民の声を反映した町づくりで懇談会を実施したが、意見はどのような事であったのか

町長 生活基盤・道路等・障害者のためのケアホーム・常北小の体育館改修・山桜の運営問題・下水道整備・役場の業務改善・病院誘致・交流サロン・健康診断年齢制限撤廃・企業誘致・診療所整備・庁舎建設工事・城北病院跡地活用・耕作放棄地対策・特産品観光の推進・懇談会の継続・桂中体育館改修・桂公民館改修・ホールの湯運営改善・区要望案件の迅速な対応・鳥獣駆除対策の促進・七会幼稚園跡地利用など。

速な対応・鳥獣駆除対策の促進・七会幼稚園跡地利用など。

人口減少に対して



「コミュニティセンターにて語らう」

南條 歯止めの方策をどのように考えているのか。

町長 働く場所の確保、地場産業の振興と企業誘致。空き校舎は町の重要な資産。積極的に誘致していく。北方小は茨城県埋蔵文化整理センターへと進めている。正社員10名、パート50名程度の雇

用が見込まれる。頓化原古墳と埋没文化財を見る観光の拠点として活用。七会地区の小中学校は光ファイバーも入っており、IT産業や観光産業に。笠間市、茂木町、益子町で締結した縁結びで広域ネットワークに基づいて、婚活の支援も行っていく。

南條 ブランド認定募集の現在の状況は？

町長 12月19日まで募集。複数の応募が既に寄せられている。1月中旬に審査会。現在の5品目から数倍以上に増やしたい。

物産センターの今後は

南條 町長は桂物産センターの拡張を考えているが、七会の物産センター2カ所についての対応と対策は？

町長 現在、国交省・県・町三者で道の駅かつら周辺と那珂川の護岸整備、道の駅かつらと那珂川が一体となって使える施設整備を進めている。リニューアルの時期にきている。これを機会に検討したい。

山桜の状況については売り上げが減少。非常に厳しい状況。特産品直売所ななかいは、築



「休止状態の直売所ななかい」

20年経過。営業不振により休止状態。今後売却処分等も検討。**南條** その他・公共交通の取り組み。学生・お年寄りの交通弱者の足の確保。診療所等伺う。

七会診療所の建て替え先について



藤咲 芙美子 議員

藤咲 医療機関抜きまのまちづくりは考えられない。特に城里町の場合、医療機関が水戸に転出する事態が生じた。平成21年度の住民アンケートによると、住民の40%が七会診療所の建設を望んでいる。私は社会福祉センターに建設することを提案する。クローケー場内の建設は国からの補助の関係で困難とされてきたが、県の担当課を通じて交渉したところ、保健福祉センターに駐車場に建設可能だとの返答だった。

町長 非常に理にかなった提案である。18日の国保運営協議会に諮りたい。補助金の申請などの関係から28年度の着手、29年度開院の方向である。



「建て替え候補地」

婦人科がん検診拡充について

藤咲 がん検診の基本は早期発見早期治療である。町の健康診査の拡充を図ることは町民本人にとっても大切である。婦人科がん検診のうち、26年度から無料クーポン券が限定されたが、少なくとも25年度以前の水準に

もどすべきではないか。マンモエコーの56歳までの年齢制限は不合理。取り除くべきと考えるが。来年度から完全予約制も削除すべきだと思いが。桂地区から検診場所がなくなつたが、これは問題ではないか？

デマンドタクシーの広域化をはかる

町長 27年度から無料クーポン券は以前に戻す。マンモエコーは年齢制限を外す方向。検診場所は桂公民館でも行いたい。完全予約制と定員制は勉強し、考えていきたい。

藤咲 現在のデマンドタクシーは利用者から喜ばれているが、高齢化社会になつて足の確保は決定的に重要である。子供や親せきに頼むにも限界がある。そこで複数の市町村をつなぐ広域のデマンドタクシーの実現が求められていると思うが。



「走れ！デマンドタクシー」

町長 県央9市町村が協議を行つていて、デマンド広域化も検討している。

防災関係について



あくつのりお 阿久津 則男 議員

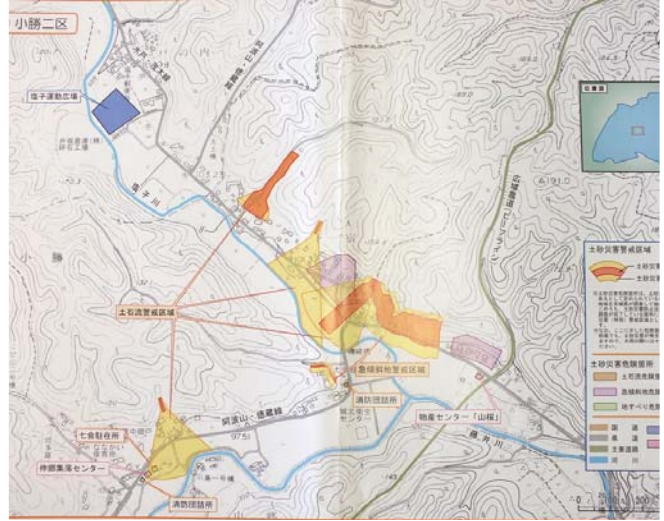
阿久津 災害時の城里町防災計画書をどのように見直すのか？

町長 重要なポイントだけを押さえたコンパクトな防災計画書を作成します。また、県の防災計画の改定が26年度中に行われ、原子力対策として広域避難計画書等もしめされるので町の計画書もそれ

阿久津 を受けて見直したい。危険個所マップにゴルフ場等の近辺が記載されていないが、町単独で危険個所を調査できないか。

町長 地域の状況を把握し検討したい。

阿久津 10月の台風で消防団も出動したが、土嚢袋等が足りなかったと聞くがその後の対応は。



「防災危険個所マップ」

町長 現在、土嚢袋は150袋備蓄している。1,150袋対応できる状況である。

阿久津 自主防災組織の立ち上げに力を入れるべきではないか。

町長 自主防災組織には、運営費年3万円を補助することで区長会等に立ち上げを要請している。

阿久津 七会地区の一斉放送通信で、機械の故障が多く、緊急災害時に支障をきたすと考えられるが、今後の状況は。

町長 取引会社を9月25日に(株)ジェイウエイに切り替え、事業及び保守が行われ、新型のスピーカーに交換し順次作業を進めている。更に七会支所の各主要機器、サーバー類も更新する準備を進め

ている。

阿久津 機器の故障を回覧で調査できないか？

町長 今後、七会地区全戸の調査を行いたい。

阿久津 七会医科診療所（築42年）歯科診療所（築39年）を、下見した感想を伺う。

町長 患者も多く、今後も残していくかなければならない必要な施設であると思っている。

阿久津 建て替え場所を七会保健センターに移すとのことだが、現在の場所でも基本設計（1,163万）が出来ている

地域医療について



「備蓄土嚢袋」

わけだが、場所を変え設計もやり直すのか。

町長 場所を変えても同じ設計のままでも同じ設計のままでも同じ設計のままか。

阿久津 財源更正は？

町長 県の過疎支援15%と国の過疎債70%を交付税措置として利用する。27年度に地盤調査及び申請をし、28年度着手する計画である。

地域活性(創生)について



すぎやま きよし 杉山 清 議員

地域貨幣について

杉山 商工会の60%を占める工会員対象にプレミアム建設券発行と、現在ある商品券に裏書方式を採用しては？

町長 2つの補助制度も含め実現に向け検討する。手形方式の商品券は実現できるか調査する。

交流人口対策について

杉山 僻地過疎自治体では自治体の消滅が話題だ。町の発展には交流人口増が必要不可欠では。
町長 非常に有効な施策であり姉妹都市も含めて考えてまいる。

町イベント協賛について

杉山 日本自動車

研究所の協力を頂いて町内外来場者増を図っては。
町長 日本自動車研究所に協力して頂けるようお願いしてまいる。

原子力災害対策UPZについて

杉山 JCO事故以来4回目の質問、町としてUPZ区域住民の第1次避難地計画を早急に選定頂きたい。
(案)ツインリンク茂木
町長 ホンダ自動車に協力して頂けるかお願いし、速やかに計画検討する。

避難所対策について

杉山 坏地区には指定避難所がありません。町内の全避難所への誘導看板も含めて今後の対策を伺

う。
町長 地元と意見交換し検討する。避難所誘導看板は設置に向け準備を進める。

町内河川・橋梁について

杉山 町内河川工事の河床工事は30ㄱ35年以上滞っている。砂利組合と連携し改修にあたっては。震災後4年、町内の2橋の改修は？
都建課 河川は県へ要望し組合と協議する。橋梁は点検後改修へと進める。



「交互通行する大型車両」

インフラ整備について

杉山 那珂川大橋は幅員5・5mと大型車通行と町の経済発展を大きく阻害している。国県への働きかけを。地域の安全対策として未整備町道に費用対効果策として1・5車線(待避所)を設置しては。
町長 那珂川大橋については更に要望活動を行ってまいる。1・5車線については、費用対効果と通学路の安全対策の一つとして有効であると考え

ふるさと納税について

杉山 全国自治体のふるさと納税は増加傾向にあるが城里町としての増額策はあるか？ ホームページと広報誌の活用と称号制度を勘案しては？
町長 ふるさと納税は重要な財源と成り得る。県内では高額納税を集めている自治体もあり、今後山桜でふるさと納税キャンペーンを実施し、更にネットや広報誌活用も実現に向け検討してまいる。



「ふるさと納税キャンペーン」